

平成26年度 健康福祉部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(健康福祉部関係分)

政策 03 福祉・保健・医療	<b>政策展開の方向性</b>						
	<p>全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるよう健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、病気や怪我をした際には、必要な治療が迅速かつ適切に受けられるよう地域医療体制と市立病院経営の安定を図ります。</p> <p>また、だれもが安心して生活できるよう保険・医療など社会保障制度の周知に努めるとともに、制度の安定した運営を図ります。</p> <p>さらに、障がいのある方や高齢者が、地域でいきいきと自立した生活が送られるようサービスの充実を図るとともに、市民の地域福祉に対する理解を深め、人材を確保することで、地域全体で支え合う体制づくりを推進します。</p>						
	<b>平成26年度の取組状況報告</b> (前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載)						
	<b>03-01 地域福祉の充実</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期地域福祉計画に基づき、助け合い意識の醸成やボランティア活動への支援を実施し、民生委員や社会福祉協議会等地域福祉を担う各団体への継続支援を行うことにより、それらの活動等が活性化したことを示す個別計画の指標が概ね上昇しました。</li> <li>・地域福祉施策の基本となる第3期地域福祉計画の策定を行い、平成27年度から実施する体制を整えました。</li> </ul>						
	<b>03-02 健康づくりの推進と地域医療の安定</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりの推進のため、地域健康づくり推進員を中心とした地域の健康づくり活動、健康相談や健康教育を積極的に実施し、回数や参加者数ともに増加しました。</li> <li>・乳幼児期からの生活習慣病予防に視点を置いた保健指導に努めるとともに、集団がん検診においては、休日の検診日を増やし、レディースデイや託児の実施など、特に女性が受診しやすい環境の整備に努めた結果、がん検診受診率は若干増加しました。</li> <li>・成果指標である「健康だと思ふ市民割合」は、8割台を維持しています。</li> </ul>						
	<b>03-03 障がい者福祉の充実</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方が日常生活及び社会生活を安心して送ることができるよう、障がい者支援・えべつ21プラン(第4期障がい者福祉計画・第4期障がい福祉計画)を策定しました。</li> <li>・障がいのある方の生活環境の充実を図るため、自立支援協議会などを活用し、地域課題の発掘及び解決に取り組み、その取組をホームページなどを活用して市民や企業に対して周知しました。</li> <li>・平成26年度は、障がいのある方の就労の場の確保のため、障がい者就労相談支援事業の準備を行い、平成27年度からの事業実施により、就労実現に向けた支援及び職場定着支援に努めていくこととしました。</li> </ul>						
	<b>03-04 高齢者福祉の充実</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み慣れた地域で可能な限り自立した在宅生活を送ることができるよう、地域包括ケアの充実を図ることを目指し、江別市高齢者総合計画(第7期高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画)を策定しました。</li> <li>・成果指標である「介護サービス利用者のうち在宅サービス利用者の割合」については、僅かながらも増加しています。今後も同計画に基づき、在宅生活を支える取組の充実に努めていく必要があります。</li> </ul>						
	<b>03-05 安定した社会保障制度運営の推進</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮世帯の最後のセーフティーネットとして、生活保護制度の適正な運用に努めるとともに、生活保護受給者で稼働能力を有する方については、ハローワークとの連携により経済的な自立に向けた支援を継続して実施しました。</li> <li>・広報えべつや窓口対応等において、国民年金への加入や保険料納付などに関わる国民年金制度の周知や啓発を行い、制度を正しく理解してもらうよう努めました。</li> <li>・市民の健康増進と医療費の適正化が図られるよう、国民健康保険制度の周知や特定健康診査などの保健事業の充実に努め、特定健康診査の受診率は、前年の22.5%から2.5ポイント増加しました(速報値)。</li> <li>・後期高齢者医療制度の安定 被保険者の健康の保持増進による医療費の適正化を図るとともに、後期高齢者医療保険制度を啓発を行い、保険料の収納率向上と制度の安定に努めました。</li> </ul>						
<b>政策の成果指標</b>		<b>単位</b>	<b>(初期値)</b>	<b>H26年度</b>	<b>H27年度</b>	<b>H28年度</b>	<b>目標</b>
市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合		%	42.1	32.6			↗
健康だと思ふ市民割合		%	82.0	80.6			→
自宅で生活している障がいがある方的人数		人	7,600	7,869			↗
生きがいを感じている高齢者の割合		%	78.9	76.1			↗
介護サービスが充実していると思う市民割合		%	92.1	88.2			→

健康福祉部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「地域福祉活動支援事業」 ボランティア活動の延べ実施人数	人	6,484	7,224			↗
「健康づくり推進事業」 こころの健康づくりや生活習慣病に関する 講座や教育、相談の参加者数	人	9,604	11,483			↗
「心身障害者自立促進交通費助成事業」 身体障がい者、知的障がい者並びに精神 障がい回復者のうち通所サービス決定者数	人	260	202			↗
「介護保険事業計画」 介護サービス利用者数のうち在宅サービス 利用者の割合	%	72.4	73.4			↗

政策  
06  
子育て  
・  
教育

### 政策展開の方向性

子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくりまします。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。

**平成26年度の取組状況報告**（前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）

#### 06-01 子育て環境の充実

- ・社会全体で子どもを産み育てられ、子育て世代の就労にもつながる環境整備を目指し、平成26年度は次の取り組みを実施しました。その結果、成果指標である「子育て環境が充実していると思う保護者の割合」は若干低下した一方、個別計画の進捗状況を示す「保育所定員数」は増加しました。
- ・「江別市子ども・子育て会議」において、子ども・子育て新制度の開始に向けた各施策の方向性等について意見をいただき、「えべつ・安心子育てプラン（江別市子ども・子育て支援事業計画）」を策定しました。
- ・「江別市子育てひろば ぽこ あ ぽこ」において、子育て世代に視点を置いた講習会やイベントを開催するなど、運営の充実を図るとともに、地域子育て拠点である「あそびのひろば」を新たに2か所（文京台地区、元江別地区）開設したほか、一部の「あそびのひろば」において、地域の実情に合わせて実施日数を増加するなどの拡充を行いました。
- ・年度途中に発生する保育園待機児童の解消を図るため、グループ型小規模保育施設を2か所開設しました。
- ・老朽化した市立保育園の施設整備を行うとともに、多様な保育ニーズへ対応するため、白樺・若草乳児統合園の建設整備にかかる基本・実施設計を行いました。
- ・市が運営する放課後児童クラブについて、預かり時間を18時から18時30分へ延長しました。
- ・子どもの発達に関する相談や通所などの療育支援を早期から受けられるよう、相談支援専門員を1名増員し、体制の充実を図りました。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	39.2			↗
教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	84.1			↗
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	77.6	76.6			↗
健康福祉部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「江別市次世代育成支援行動計画・後期計画」保育所定員数	人	990	1,076			↗

## 2. えべつ未来戦略(健康福祉部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	<b>■2C 雇用の創出と人材育成の支援</b> 「待機児童解消対策事業」【重複】(子ども育成課) 「白樺・若草乳児統合園建設整備事業」【重複】(子ども育成課)
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	<b>■3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり</b> 「待機児童解消対策事業」(子ども育成課) 「白樺・若草乳児統合園建設整備事業」(子ども育成課) 「親子安心育成支援事業(子育てひろば事業)」(子ども育成課) 「あそびのひろば事業」(子ども育成課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

## 3. 健康福祉部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	12,629,025				
	特別会計(B)	23,170,879				
	・国民健康保険会計	13,355,174				
	・後期高齢者医療会計	1,474,595				
	・介護保険会計	8,341,110				
	合計 (A+B)	35,799,904				
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	146.05				
	平均単価 (b)	7,853				
	人件費 (a×b)	1,146,931				
総 額		36,946,835				